

**FIH OLYMPIC
QUALIFIER**
KAKAMIGAHARA 2012



オリンピック予選 【 男子 】

開催日時 5 月 4 日 (金) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 曇り

【全試合結果】

第1試合 ----- 13:30	チェコ (世界ランク23位)	5	$\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$	0	ブラジル (世界ランク42位)
第2試合 ----- 16:00	中国 (世界ランク17位)	2	$\begin{pmatrix} 2 - 1 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$	3	日本 (世界ランク15位)
第3試合 ----- 18:30	南アフリカ (世界ランク12位)	2	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$	2	オーストリア (世界ランク21位)

【各試合の結果・詳細】

第1試合

チェコ 5 $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 ブラジル

勝点 3 勝 0 分 4 敗
勝点 0 勝 0 分 5 敗

<得点>

チェコ : 7分 #7BERNATEK、15分 #10BURES、27分 #5PROCHAZKA、42分 #17SEEMANN
62分 #21VACEK

ブラジル :

<戦評>

チェコのセンターパスにより試合が開始された。試合が動いたのは7分。チェコ#14BABICKYが単独ドリブルでサークルに入り、#3JAHODAにパスを出し左下にプッシュシュートを放ち先制点を挙げる。その後もチェコの猛攻は続く。15分#5PROCHAZKAが右サイドからヒットでサークルトップにいる#10BURESにあわせ、ヒットシュートが決まり、追加点を挙げる。27分チェコはPCを獲得。#5PROCHAZKAがフリックシュートを打ち左上に決まり、点差を広げる。一方、ブラジルも流れるようなパスワークで#18REUS、#16PAULAと繋ぎシュートを打つが決めることはできない。33分、ブラジルはPCを獲得。#5BORGESが左下にフリックシュートを打つが、チェコGK#16HANUSが好セーブを見せゴールを守る。前半はチェコが3点リードしたまま折り返す。

後半戦に入り、42分チェコ#5 PROCHAZKAがサークル付近からゴール前に打ち込み、#17SEEMANNがタッチであわせ決まり追加点を挙げる。一方ブラジルもDFからの速攻で攻め上げ51分にPCを獲得。#5BORGESがフリックシュートを打つもチェコの一番騎に止められる。試合は終始チェコペースで進む。62分チェコは右の回り込みからパスをうけた#21VACEKがシュートを打ち、5点目を挙げる。そのまま試合は終了し、5-0でチェコが勝利した。

テクニカルオフィサー	STEWART Antony	アンパイア	TAYLOR Simon
ジャッジ	MARSH Gary UEDA Koichi		PRASAD Raghu

第2試合

中国 2 $\begin{pmatrix} 2 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$ 3 日本

勝点 9 勝 0 分 2 敗
勝点 13 勝 1 分 0 敗

<得点>

中国 : 10分 30分 #20NA
日本 : 26分 #3粥川、57分 #14長澤、70分 #12坪内

<戦評>

日本のセンターパスにより前半戦が開始された。序盤から両チーム共、一步も引かない激しい攻防が続く。試合が動いたのは10分。中国#8JIANGが右からドリブルで持ち込み日本のミスを誘いPCを獲得。#22DONGが右ポストにいた#20NAに合わせタッチシュートを決め、待望の先制点を挙げる。同点に追いつきたい日本は18分、PCを獲得。#14長澤が強烈なフリックシュートを放つも中国GK#25SUに阻まれる。その後も日本の反撃は続き26分、サークル付近でボールを受けた#12坪内がサークル内にいた#11北里に合わせる。中国DFの反則を誘いPSを獲得。#3粥川が右端に冷静に決め同点に追いつく。しかし、中国は30分#26AOがサークル付近でボールを受けサークル内にボールを打ち込む。そのボールに反応した#20NAがタッチシュートを決め2-1とし日本を突き離す。そのまま中国リードで前半を折り返す。

後半に入り、日本は果敢に攻撃を仕掛ける。40分、日本がPCを獲得。#14長澤がフリックシュートを放つも体を張った中国DFの堅守で追いつくことが出来ない。さらに日本の攻撃は続く。57分、#2長澤が自陣から強烈なロングパスを放つ。一度は中国DFに阻止されるがボールは、#9田中にわたりGKの反則を誘いPCを獲得。#14長澤が右上に豪快なフリックシュートを決め、またしても同点に追いつく。引き分けでは決勝に進めない中国は67分、GKとFPが交代しパワープレーに出る。中国の攻撃が続くも、日本は執念の守備で得点を許さない。試合終了間際70分、日本#8小沢が中盤でパスカットし、#3坂本にパスを渡す。ドリブルから#12坪内にパスを出すと、そのまま右からサークルインしGKのいないゴールにヒットシュートを決め、勝ち越す。2-3で日本は劇的な勝利を果たし決勝進出を確定した。

テクニカルオフィサー	MARSH Gary	アンパイア	KIM Hong Lae
ジャッジ	UEDA Koichi STEWART Antony		GROCHAL Marcin

第3試合

南アフリカ 2 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 2 & -1 \end{pmatrix}$ 2 オーストリア

勝点 11
3 勝 2 分 0 敗

勝点 7
2 勝 1 分 2 敗

<得点>

南アフリカ : 49分 65分 #5SMITH

オーストリア : 20分 #9KÖRPER、56分 #12JELINEK

<戦評>

南アフリカのセンターパスにより前半戦が開始された。序盤から両チームとも激しくボールを奪い合う。試合が動いたのは17分、南アフリカはPCを獲得。#3CRONJEがヒットシュートを放つがGKに止められる。#18McDADEがリバウンドを拾うも不運にもポストに阻まれ得点することができない。20分、オーストリアはPCを獲得。#9KÖRPERのフリックシュートはGKの頭上に決まり先制点を挙げる。同点に追いつきたい南アフリカは25分、#10NORRIS-JONESがサークル付近からドリブルでサークル内に攻め込み、リバースヒットを放つが枠を捉えることが出来ない。さらに南アフリカは28分PCを獲得。#5SMITHがフリックシュートを放つが、またしても枠を捉えることが出来ない。両チームとも積極的に攻め込むがチャンスを作ることができず、1-0のオーストリアリードで前半を折り返す。

後半戦が開始され、南アフリカは積極的に攻撃を仕掛ける。40分PCを獲得。しかしチャンスを活かすことが出来ない。さらに南アフリカの攻撃は続く。49分PCを獲得。#5SMITHのフリックシュートが左上に決まり、同点とする。その後も攻撃を仕掛ける南アフリカだがオーストリアの堅い守りに追加点を挙げる事が出来ない。対するオーストリアも54分、PCを獲得。GK#23PIETERSEの好セーブにより得点に繋げることが出来ない。しかし、56分、オーストリア#18MINARのセンターリングを#12JELINEKがタッチシュートし再びリードする。その後、南アフリカは65分にPCを獲得。#5SMITHのフリックシュートが決まり再び同点とする。試合は、そのまま終了。南アフリカは決勝進出を決めた。

テクニカルオフィサー	MARSH Gary	アンパイア	GREENFIELD Gareth
ジャッジ	STEWART Antony		KEARNS Adam
	UEDA Koichi		

明日の組み合わせ【女子】

第1試合 ----- 10:00	オーストリア (世界ランク29位)	VS	マレーシア (世界ランク23位)
第2試合 ----- 12:30	チリ (世界ランク17位)	VS	ベラルーシ (世界ランク22位)
第3試合 ----- 15:00	日本 (世界ランク9位)	VS	アゼルバイジャン (世界ランク15位)